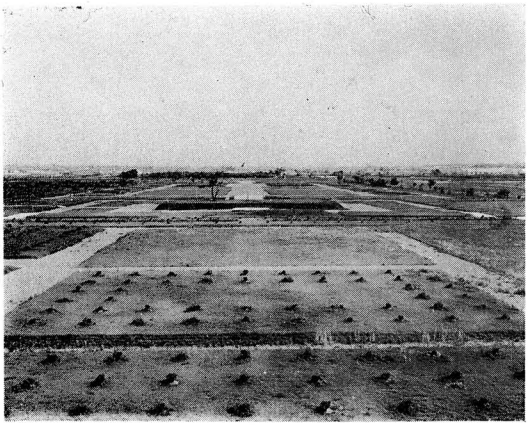
奈良国立文化財研究所概要

１９７０年１１月

本　館　正　面

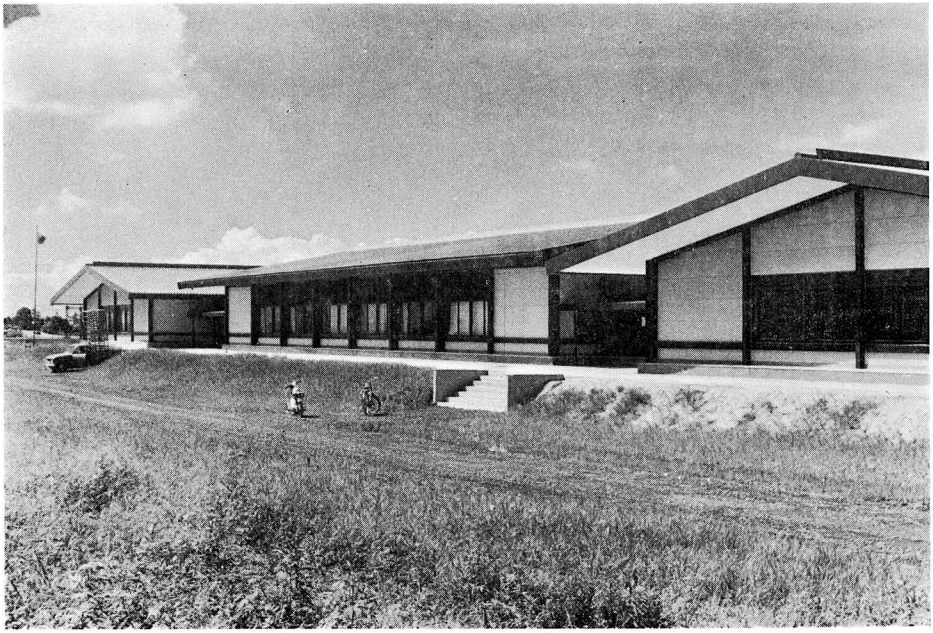
所在地　奈良市春日野町50番地
TEL．0742(22)0474～6

平城宮跡発掘調査部(平城宮資料館)全景

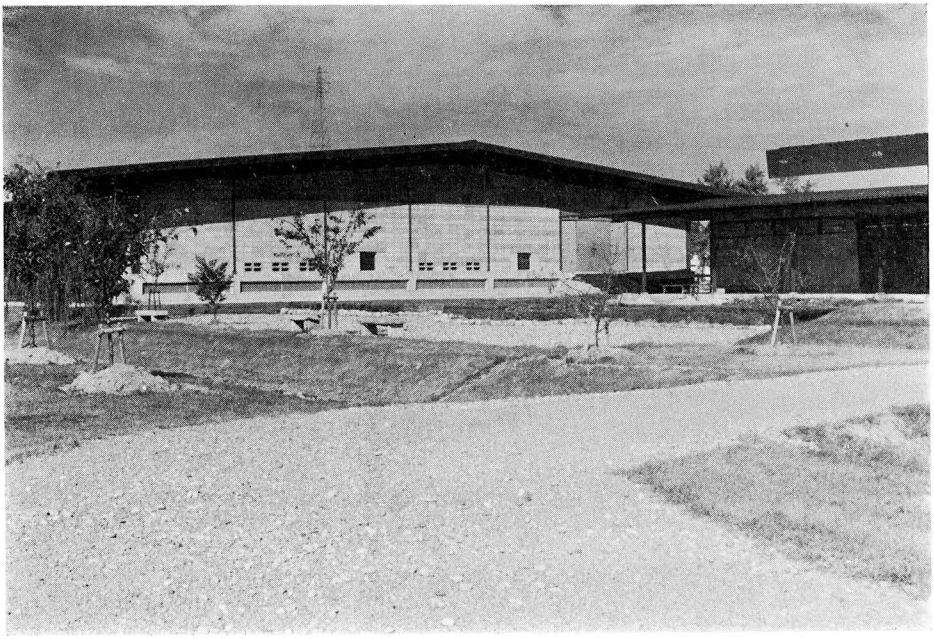


整備の進む平城宮跡

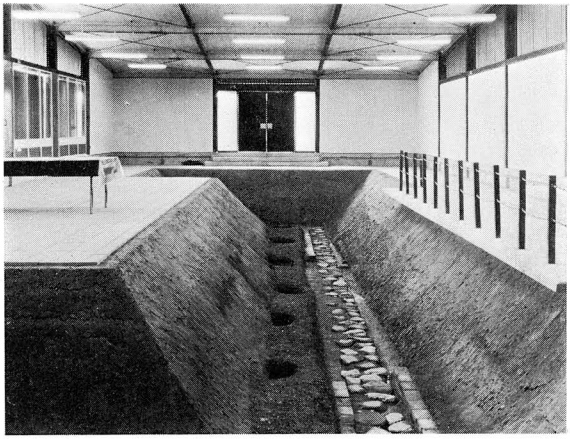
所在地　奈　良　市　佐　紀　町
TEL. 0742(33)4821～3



平城宮資料館　前景



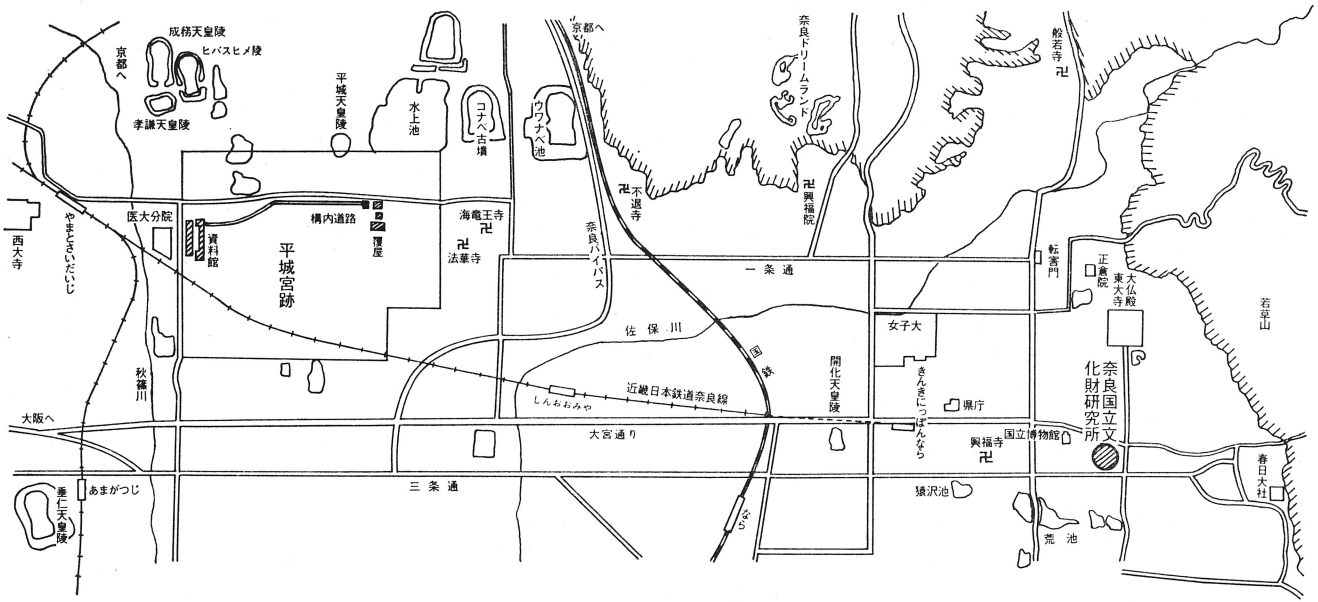
平 城 宮 跡 覆 屋



覆屋内部 （塼積遺構）

資料館展示室

資料館収蔵庫


成務天皇陵
ヒバスヒメ陵
京都へ
孝謙天皇陵
平城天皇陵
水上池
コナベ古墳
ウワナベ池
京都へ
奈良ドリームランド
般若寺
不退寺
興福院
西大寺
やまとさいだいじ
医大分院
構内道路
資料館
覆屋
平城宮跡
海竜王寺
法華寺
奈良バイパス
一条通
転害門
正倉院
東大寺
大仏殿
若草山
佐保川
女子大
秋篠川
国鉄
開化天皇陵
きんきにっぽんなら
県庁
近畿日本鉄道奈良線
しんおおみや
奈良国立文化財研究所
大阪へ
大宮通り
国立博物館
興福寺
春日大社
あまがつじ
三条通
猿沢池
垂仁天皇陵
ながら
荒池

庁舎位置図

運営の特色

設立の主旨は奈良を中心とする諸々の文化財の調査研究（南都七大寺や平城宮跡の研究等）にある。組織的には、無形文化財、天然記念物、民俗資料を除く有形文化財の調査研究を行なうため、3研究室ならびに1部7調査室がある。

とくに昭和38年度から発足した、平城宮跡発掘調査部による特別史跡平城宮跡の発掘調査は、当研究所の研究事業の中心をなしており、昭和44年度よりは飛鳥藤原宮跡の発掘調査にも従事している。

その他、建造物の修理や指定のための調査、埋蔵文化財の発掘調査、美術工芸関係あるいは名勝（庭園）、史跡の指定のための調査を行ない、文化庁の文化財保護部各課と密接な連繋を保ち、文化財保護行政に役立つ研究を行なっており、さらに「平城宮資料館」や「平城宮跡覆屋」を一般に公開して文化財の知識普及に役立てている。

また、研究調査方法においては、写真測量の技術や冷凍真空乾燥機による遺物保存法、ソフテックス光線による絵画撮影などを導入するなど、科学技術的分野を開拓しつつある。

沿　　革

昭和26年10月６日　奈良文化財研究所設置準備規程（文化財保護委員会裁定第11号）により設置準備会発足

昭和27年４月１日　奈良文化財研究所発足（奈良市春日野町50番地）

昭和28年５月15日　開所式

昭和29年６月29日　奈良国立文化財研究所となる

昭和35年10月15日　平城宮跡発掘調査事務所開所（奈良市佐紀町）

昭和36年９月15日　庶務室は庶務課となる

昭和38年４月10日　平城宮跡発掘調査部が設けられる

昭和39年３月12日　同上調査部に第１～第３調査室、保存整理室、史料調査室を置く

昭和40年３月31日　同上調査部に第４調査室を置く

昭和43年６月15日　文化庁附属機関となる

昭和45年４月17日　平城宮跡発掘調査部の組織を考古第１～考古第３調査室、遺構調査室、計測修景調査室、史料調査室、飛鳥藤原宮跡調査室と改める

機　構　図

- 所　長　松下隆章
  - 庶務課長　石藤守雄
    - 課長補佐　国井和朗
      - 庶務係　係長　岩本次郎
      - 会計係　係長　坂口義尚
      - 平城宮跡整備管理係　係長　西村県治（併任）
    - 専門員　西村県治
  - 美術工芸研究室　室長　平田寛
  - 建造物研究室　室長　伊藤延男
  - 歴史研究室　室長　田中稔
  - 平城宮跡発掘調査部長　坪井清足
    - 考古第一調査室　室長　横山浩一（主任研究官 併任）
    - 考古第二調査室　室長　河原純之、主査　佐原真
    - 考古第三調査室　室長　八賀晋
    - 遺構調査室　室長　沢村仁
    - 計測修景調査室　室長　牛川喜幸
    - 史料調査室　室長　狩野久
    - 飛鳥藤原宮跡調査室　室長　河原純之（併任）

職　員　構　成　（定員６２名・総員８４名）

区分	定員	区分	定員	区分	定員	区分	定員	区分	人員
指定職	1	行政職㈠	11	行政職㈡	6	研究職	44	補佐員	22
所長		事務職員	8	自動車運転手	2	部長	1	事務系	15
		技術職員	3	警務員	4	室長	9	技術系	2
						研究員	34	研究系	5

事　務　分　掌

（庶務課）

◦職員の人事に関する事務を処理すること

◦職員の福利、厚生に関する事務を処理すること

◦公文書類の接受および公印の管守その他庶務に関すること

◦経費および収入の予算、決算その他会計に関する事務を処理すること

◦行政財産および物品の管理に関する事務を処理すること

◦平城宮跡の遺構および遺物の保全のための警備に関すること

◦庁内の取締りに関すること

◦前各号に掲げるもののほか、他の所掌に属しない事務を処理すること

（美術工芸研究室）

◦絵画、彫刻、工芸品、書跡その他建造物以外の有形文化財および工芸技術に関する調査研究を行ない、ならびにその結果の公表を行なう

（建造物研究室）

◦建造物に関する調査研究を行ない、ならびにその結果の公表を行なう

（歴史研究室）

◦考古および史跡に関する調査研究を行ない、ならびにその結果の公表を行なう

（平城宮跡発掘調査部）

◦飛鳥藤原宮跡調査室を除く各室においては、平城宮跡に関し、その発掘を行

なうほか、次の事務を処理する

◦考古第一調査室は木器・金属器等の、考古第二調査室は土器等の、考古第三調査室は瓦等の保存整理および調査研究ならびにこれらの結果の公表を行なう

◦遺構調査室においては、遺構の保存整理および調査研究ならびに、これらの結果の公表を行なう

◦計測修景調査室においては、遺構の計測および修景ならびに、これらに関する調査研究ならびに、これらの結果の公表を行なう

◦史料調査室においては、木簡の保存整理および調査研究、史料の収集および調査研究ならびに、これらの結果の公表を行なう

◦飛鳥藤原宮跡調査室においては、飛鳥藤原宮跡の発掘、遺構および遺物の保存整理および調査研究ならびにこれらの結果の公表を行なう

予　　算　（昭和40年度～昭和45年度）

（単位千円）

事項＼年度	昭和40年度	41年度	42年度	43年度	44年度	45年度
(項)国立文化財研究所						
事業管理	1,715	1,177	1,193	1,439	1,654	2,242
一般研究	7,271	8,205	9,702	9,389	10,400	12,244
平城宮跡発掘調査	57,143	64,486	62,981	59,840	71,331	
平城宮跡発掘調査および飛鳥藤原宮跡発掘調査						98,151
平城宮跡整備管理						66,819
設備整備および施設施工事務費				56,442	129,575	
施設整備費						21,106
その他	513					
人件費	38,652	42,363	48,001	53,203	63,130	56,543
計	105,294	116,231	121,877	180,313	276,090	257,105

（注．人件費の40～44年度は決算額．45年度は予算額）

科学研究費

（単位千円）

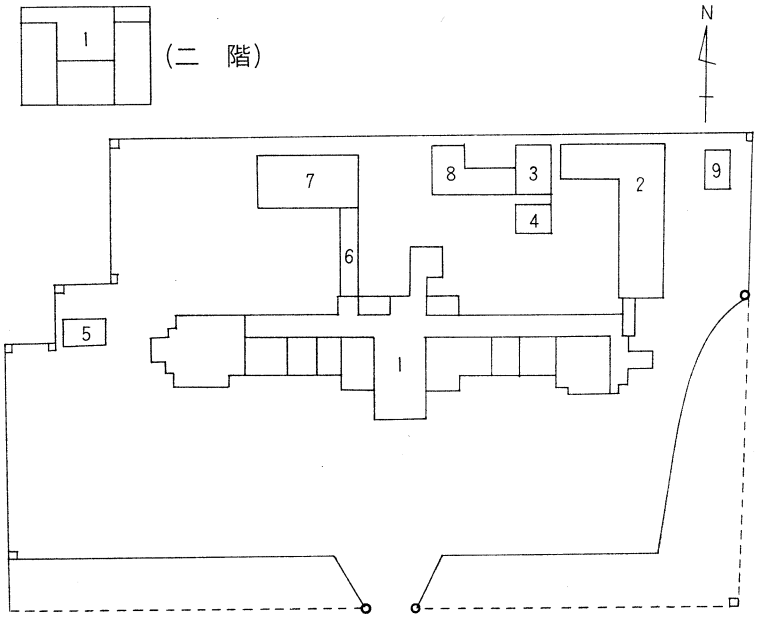
事項＼年度	昭和40年度	41年度	42年度	43年度	44年度	45年度
総合研究					1,300	1,500
一般研究				2,210	20,370	20,280
機関研究			1,780			
各個研究	414	760	750			
奨励研究				730	820	700
計	414	760	2,530	2,940	22,490	22,480

建　物　概　要

(1) 本　館　庁　舎　　(　)は取得年月日

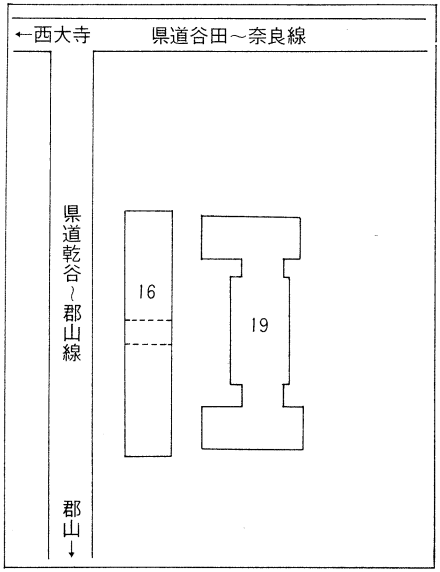
建物番号	名称	種目・構造	延面積 建面積	建築年月日
1	本館	事務所建 木造・二階	714m² 946	明35. 3. 25 (昭29. 1. 26)
2	整理室	事務所建 木造・平家	204 204	大2. 1. — (昭29. 1. 26)
3	倉庫	倉庫建 木造・平家	39 39	昭8. 3. — (昭29. 1. 26)
4	〃	〃 〃	19 19	〃 (　〃　)
5	物置	雑屋建 木造・平家	26 26	〃 (　〃　)
6	渡廊下	雑屋建 木造・平家	23 23	昭29. 3. 24
7	書庫	倉庫建・鉄筋コンクリート・平家	110 110	〃
8	宿直室	雑屋建 木造・平家	56 56	昭31. 10. 20
9	車庫	倉庫建・コンクリートブロック・平家	20 20	昭34. 12. 21
計			1,211 1,443	
土地			5,126	

(二　階)

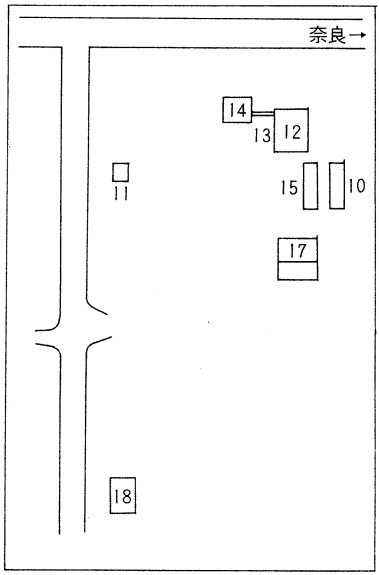


(2) 平城宮跡発掘調査部

建物番号	名称	種目・構造	延面積 建面積	建築年月日
10	遺物保存倉庫	倉庫建・ブロック	200.00m² 200.00	昭43. 3. 30
11	〃	〃 〃	72.00 72.00	〃
12	覆屋	〃 〃	784.00 784.00	41. 3. 28
13	渡り廊下	雑屋建 〃	60.00 60.00	〃
14	覆屋	倉庫建 〃	168.00 168.00	41. 10. 16
15	展示室	〃 〃	240.00 240.00	42. 6. 30
16	収蔵庫	〃 〃	2,456.18 1,552.82	44. 3. 29
17	覆屋	〃 〃	384.00 384.00	43. 3. 30
18	〃	〃 〃	359.78 359.78	44. 3. 31
19	展示室および研究室	事務所建 〃	1,943.31 1,943.31	45. 3. 29
計			6,668.07 5,763.91	



(西部地区)



(東部地区)

備　品　等

(1) 自　動　車

普通乗合自動車	1台
乗用自動車	1〃
貨物自動車	4〃
軽四輪自動車	1〃
原動機付自転車	4〃
特殊自動車（トラクター他）	2〃
計	13〃

(3) 研究資料

図書	20,077冊
地図	157部
写真	61,724点
復原模型（朱雀門ほか）	16基

(3) 器　材　類

地上写真測量機	2台
広角実体測定装置（図化機）	一式
冷凍真空乾燥機	1台
万能経緯儀（ウイルドTⅡ型）	2台
トランシット（AGⅡ型）他	7台
レベル（ウイルドNⅡ型）他	8台
万能製図機（ドラフターMV110）	12台
落射立体顕微鏡	1台
実体顕微鏡	1台

ソフテックス	2台
マイクロ写真撮影機	3台
マイクロ自動現像機	1台
マイクロプリンター	1台
マイクロリーダー	1台
１６ミリ撮影機	1台
１６ミリ映写機	1台
自動乾燥機（ＦＣⅡ型）	2台
フイルム乾燥機	1台
複写機（コニファックスＡ４）	1台
複写機（コニファックスＢ４）	1台
計　算　機	3台
アップライト	1台
変　電　装　置	一式
ボ　イ　ラ　ー	1台
ホ　イ　ス　ト	2台
ブルドーザー	1台
ベルトコンベヤー	70台
インパクトローラー	1台
草　刈　機	5台

普 及 事 業

(1) 公 開 講 演 会

第1回	平城宮跡発掘建築遺跡について	浅野　清	昭和 29. 4.24	於本所講堂
	平城宮跡発掘出土遺物について	釣田　正哉		
	平城宮跡出土遺物と大陸文化との関連	小泉　顕夫		
第2回	仏師運慶について	小林　剛	29. 5.15	於本所講堂
	修学院離宮建築および庭園の復原的研究	森　蘊		
第3回	大安寺および薬師寺の発掘	浅野　清	29.11.13	於本所講堂
	同出土遺物について	田中　一郎		
	奈良高校校庭に於ける遺跡について	鈴木　嘉吉		
第4回	俊乗坊重源の事蹟について	小林　剛	30. 5.21	於本所講堂
	「南無阿弥陀仏作善集」について	田沢　坦		
	天竺様建築について	鈴木　嘉吉		
第5回	西大寺(美術工芸)調査報告講演会			
	興正菩薩叡尊の胎内文書について	小林　剛	30.10.15	於西大寺
	舎利塔について	守田　公夫		
	絵画について	浜田　隆		
第6回	平城宮跡、興福寺発掘調査報告講演会			
	興福寺食堂の発掘経過	浅野　清	30.11.16	於本所講堂

	興福寺食堂遺跡について	杉山　信三		
	平城宮跡の発掘について	坪井　清足		
第7回	院政時代の寺院建築	杉山　信三	31．5.18	於本所講堂
	叡尊の舎利塔について	守田　公夫		
	西大寺塔址発掘調査報告	坪井　清足		
第8回	元興寺極楽坊調査報告			
	板絵に関する一考察	浜田　　隆	31.10.20	於元興寺極楽坊
	本堂について	鈴木　嘉吉		
	聖徳太子について	小林　　剛		
第9回	開所五周年記念講演会			
	飛鳥寺の歴史	小林　　剛	32．3.23	於毎日新聞大阪本社講堂
	飛鳥寺の建築	浅野　　清		
	飛鳥寺の発掘	坪井　清足		
	映画「桂離宮」解説	森　　蘯		
第10回	安達時顕施入の法華寺一切経について	田中　　稔	32．7．5	於本所講堂
	光学的方法による元興寺極楽坊彩色印仏の研究	浜田　　隆		
	東大寺指図堂釈迦如来(善円作)を中心として	田沢　　坦		
第11回	飛鳥寺塔址の発掘調査	坪井　清足	33．5.24	於本所講堂
	川原寺の第一次発掘調査	鈴木　嘉吉		

	中世庭園文化と大乗院ならびに一乗院	森　蘊		
第12回	奈良川原寺の発掘調査	坪井　清足	34. 3.14	於毎日新聞社京都支局
	興福院の「ふくさ」について	守田　公夫		
	京都国際文化会館建設予定地(尊勝寺址)の調査	杉山　信三		
第13回	仁和寺の古文書調査について	田中　稔	34. 5.16	於本所講堂
	南都諸寺の古図について	小林　剛		
第14回	最近の平城宮跡発掘調査について	工藤　圭章	35. 6. 4	於本所講堂
	手向山神社宝物について	守田　公夫		
第15回	叡尊研究の一班	小林　剛	36. 5.13	於本所講堂
	平安時代末の院家建築	杉山　信三		
	平城宮跡出土の木簡	田中　稔		
第16回	平城宮跡発掘調査報告	樋本亀治郎 坪井　清足	36.11. 7	於本所講堂
第17回	10周年記念講演会			
	南都諸大寺旧境内の立地的考察	森　蘊	37. 6. 2	於本所講堂
	平城宮の官衙建物について	工藤　圭章		
	法隆寺中門金剛力士像の実測調査について	長谷川　誠		

第18回	西寺跡の調査と平安京の条坊	杉山　信三	38. 5.25	於本所講堂
	平城宮跡の出土遺物	田中　　琢		
	仁王会本尊図の展開について	清野　智海		
第19回	大安寺発掘調査報告	杉山　信三	38.11. 2	於本所講堂
	西大寺弥勒菩薩坐像について	長谷川　誠		
	平城宮跡出土の木簡について	狩野　　久		
第20回	昭和38年度における平城宮の調査	沢村　　仁	39. 5.16	於本所講堂
	文化財と写真測量	牛川　喜幸		
第21回	天平の木画師について	平田　　寛	39.11. 7	於本所講堂
	秋篠寺の寺地と建築について	鈴木　　充		
	最近の平城宮跡の発掘調査について	河原　純之		
第22回	名物裂とその背景について	守田　公夫	40. 5.22	於本所講堂
	大化薄葬制についての一考察	横山　浩一		
	奈良市街の変遷について	工藤　圭章		
第23回	小堀遠州の芸術について	森　　蘊	41. 5.28	於本所講堂
	古代における水田の開発	八賀　　晋		
第24回	中世和様建築の意匠について	伊藤　延男	42. 5.27	於本所講堂

	仏師康円について	長谷川　誠		
第25回	中世における証文保管の一例	田中　稔	43. 5.25	於本所講堂
	弥生式文化と銅鐸	佐原　真		
第26回	平城宮跡発掘調査10ケ年の成果	坪井　清足 沢村　仁 狩野　久	44. 6. 7	於本所講堂
第27回	デンマーク・イギリスの遺跡とその保存整備	田中　琢	45. 5.30	於平城宮資料館
	近畿地方を中心とする民家研究の現状	宮沢　智士		
第28回	文化財保護法施行20周年記念—仏教文化史研究—			
	大仏背後の山	伊藤　延男	45.10.31	於本所講堂
	七大寺巡礼私記と十五大寺日記	田中　稔		
	南都の高僧画像	平田　寛		
	十一面観音像考	松下　隆章	45.11. 7	
	薬師寺講堂三尊像の原所在についての検討	長谷川　誠		
	密教の鎮壇具	森　郁夫		

(2) 退官記念講演会

第1回	楽浪・帯方郡と倭国との関係—邪馬台国の問題にちなんで—	榧本亀治郎	41. 4.23	於本所講堂
第2回	東大寺四至山堺図について	森　蘊	42. 4.17	於本所講堂
第3回	京の大寺について	杉山　信三	43. 4.20	於本所講堂

第4回　名物裂の成立　　守田　公夫　　45. 5. 9　於本所講堂

(3) 現地説明会

第1回	平城宮跡発掘調査現地報告会		30. 8.20
第2回	飛鳥寺第一次発掘調査現地報告会		31. 5.26
第3回	飛鳥寺第二次発掘調査現地報告会		31.12.22
第4回	飛鳥寺第三次発掘調査現地報告会		32. 7.27
第5回	川原寺第一次発掘調査現地報告会		32.12.21
第6回	川原寺第三次発掘調査現地報告会		33.12.20
第7回	平城宮跡発掘調査現地報告会		34. 9.26
第8回	〃		35. 8.27
第9回	〃		35.12.16
第10回	平城宮跡第8次発掘調査報告会	坪井　清足 工藤　圭章	37. 6.16
第11回	平城宮跡第10次発掘調査報告会	坪井　清足 工藤　圭章 沢村　仁	37. 9.15
第12回	平城宮跡第12・13次発掘調査現地報告会	沢村　仁 田中　琢	38. 9.14
第13回	平城宮跡発掘調査（朱雀門跡および第二次内裏北辺）報告会	岡田　茂弘 本村　豪章	39. 9. 5
第14回	平城宮跡第21・22次発掘調査報告会	鈴木　充 八賀　晋	40. 2.13
第15回	平城宮跡出土の木簡について 平城宮跡第22・26・27次発掘調査について	横田　拓実 工楽　善通 佐原　真	40.11. 6

第16回	平城宮跡第32次発掘調査について	河原　純之	41. 3. 1
第17回	最近の平城宮跡発掘調査について	横田　義章	41.11. 5
	出土木簡について	鬼頭　清明	
	現地説明（第36次発掘調査）	栗原　和彦	
第18回	第36・38次平城宮跡発掘調査結果について	松下　正司	42. 3.25
	第39次発掘調査について	森　　郁夫	
	現地説明（第39次発掘調査）	同	
第19回	第37・40次平城宮跡発掘調査の成果	佐藤　興治	42.11.11
	第41次調査の成果	阿部　義平	
	現地説明（第41・43次調査）	町田　　章	
第20回	平城宮東南隅調査（第44次）の成果	小笠原好彦	43. 3. 2
	平城宮東域出土の木簡	加藤　　優	
第21回	東朝集殿跡の調査	西谷　　正	43. 8.10
	朝集殿の建築について	宮沢　智士	
第22回	飛鳥小治田宮跡推定地発掘調査現地説明会	木下　正史	45. 9.12
第23回	平城宮第一次内裏地域発掘調査現地説明会	宮本長二郎	45. 9.26

(4) その他の催し

〔展示協力〕

奈良国立文化財研究所10周年記念「奈良国宝展」 —平城宮跡発掘品も展観— （奈良隣山会、日本経済新聞社主催）	37.10.16 ～10.28	於東京日本橋高島屋

〔後　　援〕

平城宮発掘展 （島根県教委、日本経済新聞社共催）	41.10.29 ～11.13	於 島根県立博物館

〔主　　催〕

平城宮跡覆屋一般公開 （発掘調査出土品展観）	44.11. 1 ～11.3	於　平　城　宮　跡

〔展示協力〕

平　城　宮　展 （朝日新聞社主催、文化庁後援）	44. 1 .4 ～1.28	於東京小田急百貨店
同　　上	44. 2. 7 ～2.12	於大阪近鉄阿倍野百貨店
同　　上	44. 4.18 ～4.23	於近鉄四日市百貨店

〔主　　催〕

平城宮跡覆屋一般公開 （発掘調査出土品展観）	44.10.22 ～11.5	於　平　城　宮　跡

〔主　　催〕

文化財保護法施行20周年記念 平城宮跡資料館、覆屋特別公開 —遺構・出土品・模型等展観—	45.10.20 ～11.8	於　平　城　宮　跡

研　究　成　果

奈良国立文化財研究所学報

年　度	書　名		担　当　者
昭和29年度	第1冊	仏師運慶の研究	小林　剛
	第2冊	修学院離宮の復原的研究	森　蘊
30年度	第3冊	文化史論叢	小林　剛、森　蘊 杉山信三、田中一郎 田中　稔
31年度	第4冊	奈良時代僧房の研究	浅野　清、鈴木嘉吉
32年度	第5冊	飛鳥寺発掘調査報告	浅野　清、杉山信三 坪井清足、鈴木嘉吉
33年度	第6冊	中世庭園文化史	森　蘊
	第7冊	興福寺食堂発掘調査報告	坪井清足、鈴木嘉吉
34年度	第8冊	文化史論叢　二	小林　剛、守田公夫 浜田　隆、杉山二郎
	第9冊	川原寺発掘調査報告	杉山、坪井、鈴木、田中（稔）、工藤、田中（琢）
35年度	第10冊	平城宮跡、伝飛鳥板蓋宮跡 尊勝寺跡発掘調査報告	杉山、坪井、鈴木、工藤、田中(琢)、岡田
36年度	第11冊	院の御所と御堂（院家建築の研究）	杉山信三
37年度	第12冊	巧匠安阿弥陀仏快慶	小林　剛
	第13冊	寝殿造系庭園の立地的考察	森　蘊
	第14冊	唐招提寺蔵　「レース」と「金亀舎利塔」に関する研究	守田公夫
	第15冊	平城宮発掘調査報告　Ⅱ —官衙地域の調査—	坪井、鈴木(嘉)、田中(稔) 工藤、沢村、田中(琢)、 岡田、狩野、河原
38年度	第16冊	平城宮発掘調査報告　Ⅲ —内裏地域の調査—	榧本、坪井、田中(稔)、 工藤、沢村、田中(琢)、 岡田、狩野、河原
	第17冊	平城宮発掘調査報告　Ⅳ —官衙地域の調査２—	榧本、坪井、田中(稔)、 工藤、沢村、田中(琢)、 岡田、狩野、河原

	第18冊	小堀遠州の作事	森　蘊
42年度	第19冊	藤原氏の氏寺とその院家	杉山信三
44年度	第20冊	名物裂の成立	守田公夫

奈良国立文化財研究所史料

年　度	書　名		担　当　者
昭和29年度	第1冊	南無阿弥陀仏作善集（複製）	田沢　坦
30年度	第2冊	西大寺叡尊伝記集成	小林　剛
38年度	第3冊	仁和寺史料　寺誌編一	田中　稔、狩野　久
39年度	第4冊	俊乗坊重源史料集成	小林　剛
41年度	第5冊	平城宮木簡　一	田中(稔)、田中(琢)、狩野、原、横田(拓)、鬼頭、加藤
42年度	第6冊	仁和寺史料　寺誌編二	田中　稔、狩野　久 加藤　優
44年度		平城宮木簡　一　（解説）	坪井、田中(稔)、田中(琢)、狩野、横田、工楽、鬼頭、加藤ほか

奈良国立文化財研究所年報　　1958～1970

平城宮第13次発掘調査出土木簡概報

平城宮発掘調査出土木簡概報　　㈡～㈦